

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ 「わが村は美しくー北海道」運動 第12回コンクール募集中！

第12回コンクールの参加チームについて、現在募集を行っています。

「わが村は美しくー北海道」運動では、北海道の農山漁村の魅力と活力を高めるため、地域で頑張る皆様の活動を広く発信、支援しています。

地域の資源を活かし、地域を元気にしようと団体同士が連携して活動している皆様のご応募をお待ちしています。

【募集期間】 令和8年1月28日(水)

～令和8年5月29日(金)

【H P】コンクールの概要や応募方法など、詳しくはこちら↓からご確認ください。

【募集期間】 令和8年1月28日(水)～令和8年5月29日(金)

【H P】コンクールの概要や応募方法など、詳しくはこちら↓からご確認ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/splaat00001mdfu.html

◎「わが村は美しくー北海道」運動 パネルコーナー設置にてPR！！

～コンクール後援団体の主催イベントでPR活動を実施しました～

コンクールの後援団体と連携し、後援団体が主催するイベントの会場において、「わが村関連パネルコーナー」の設置により、わが村運動や参加団体の紹介を行いました。

～ 令和7年度 「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会 ～

全道から集まった多面的機能支払交付金を活用して地域の共同活動に取り組んでいる農業者、行政職員等の方々に、わが村運動の情報や第12回コンクール募集開始のPRのほか、官民共創の取組として剣淵町の事例（けんぶち産キノアの取組）を紹介しました。



開催日：令和8年2月17日（火）

会 場：旭川市民文化会館

主 催：北海道日本型直接支払推進協議会（事務局：北海道土地改良事業団体連合会）

～ 令和7年度 北の国・森林づくり技術交流発表会 ～

全道の森林・林業・木材産業に関わる方々に、森林などをテーマに活動するわが村団体の情報や第12回コンクール募集開始のPRしました。

開催日：令和8年2月17日（火）

～ 2月18日（水）

会 場：北海道大学学術交流会館

主 催：林野庁北海道森林管理局



◎広報誌「開発こうほう」3月号の掲載情報

(一財)北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しく－北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号掲載され、3月号では第6回コンクールで優秀賞を受賞した「**有限会社多田農園**」（上富良野町）が紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は(一財)北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが村は美しく－北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「**有限会社多田農園**」については、わが村HPでもご紹介しております↓

<http://wagamura-net.jp/contest/06/dantai1/6120.html>

【わが村コラム(No.64)】

今回紹介するのは、音更町の『**音更町ら～麺組合**』（第10回コンクール応募団体）がご当地ラーメンとして生み出した『**音更ら～麺（ブロッコリー麺）**』です。地域の飲食店と商工会が知恵を持ち寄り、町の新たな“名物づくり”に挑戦してきました。

この取組は、食と観光をつなぐ地域づくりの流れの中で始まりました。「音更の顔になる一杯をつくりたい」という思いから、商工会が中心となり地域の素材をどう生かすかを検討。音更産の小麦とブロッコリーを主役に据え、3年間の試行錯誤を経て、2018年に麺にブロッコリー粉末を練り込んだ淡い緑色の『音更ら～麺（ブロッコリー麺）』が誕生しました。

生麺の製麺は地元の製麺所が担い、組合として品質管理や供給体制を整えながら、現在は町内外10店舗で提供されています。筆者もいただきましたが、淡い緑色の麺は見た目にも楽しく、ほどよいコシとやさしい香りが口の中に広がり、後味は軽や



か。スープとの相性も良く、店舗ごとに違う“音更ら～麺の一杯”を楽しめるのが魅力です。

ラーメンを地元の食文化として、より身近なものにしようと、まずは子どもたちに知ってもらうため、学校給食で『音更ら～麺（ブロッコリー麺）』を提供し、音更町の子どもたちが新たな地元の食文化に親しむきっかけにもなっています。



【学校給食での提供】



【大人気の袋麺】



さらに 2021 年には、自宅でも味わえる『ブロッコリーら～麺』（乾麺）が誕生。町内の食品事業者が製造を担い、年間 2 万 5 千食を売り上げる人気商品へと成長しています。乾麺は塩味に続き 2026 年 2 月には味噌味が新たに発売されました。

『ブロッコリーら～麺』（乾麺）は、「音更に足を運ぶきっかけになってほしい」という組合の思いから、道の駅おとふけ、らららマルシェ、十勝川温泉のホテル、地元スーパーのハピオなど、町内の生活拠点や観光客等が多く集まる場所などでのみお求めになれます。

活動の広がりは商品づくりにとどまらず、スタンプラリー企画、物産展への出店など、町内外で『音更ら～麺（ブロッコリー麺）』を知ってもらうための取組も続けられてきました。

生麺・乾麺の誕生を契機に、「どう伝えるか」「どう知ってもらうか」を意識し、道の駅おとふけなどの地域の拠点を活用しながら、毎年 10 月には『音更ら～麺村』を開催しています。

このイベントを通じて『音更ら～麺（ブロッコリー麺）』の魅力を広く発信し、ラーメン店の垣根を越えて、地域が力を合わせる定番企画へと成長しました。

町民だけではなく、観光客の来訪促進にもつながり、地元飲食店の活性化や地域のにぎわいづくりにもつながっており、現在、音更町が発行するイベントマップにも『音更ら〜麺（ブロッコリー麺）』が紹介されています。



【地域の定番イベントとなった音更ら〜麺村 2025】



【地元のイベントマップにも新ご当地グルメとして掲載】

地域の素材を生かした“音更の一杯”を育ててきた『音更町ら〜麺組合』。同じ素材でも店舗ごとに表情が変わるのが面白く、食べ比べる楽しみも広がります。音更を訪れた際には、ぜひそれぞれの個性が光る『音更ら〜麺（ブロッコリー麺）』を味わってみてください。

◆◆ 音更町ら〜麺組合 ◆◆

【住 所】 音更町大通 6 丁目 5 (音更町商工会内)

【お問合せ】 TEL : 0155-42-2246

【H P】 <https://www.otofuke.jp/>

(ブロッコリー麺の取り扱い店一覧、関連イベント情報が掲載されています。)

【わが村団体活動情報】

◎『みるくっくさんのアンテナショップ』のお知らせ！（標茶町）

＜わが村団体名：グリーン☆ツーリズム標茶＞

標茶のおいしい名産グルメと町内在住作家の手作り雑貨などが盛りだくさんの『アンテナショップ』を毎年1月～3月の「SL冬の湿原号運行日」のみOPENしています。

今年も1月17日にOPEN初日を迎え、寒さの中元気に営業しています。

『アンテナショップ』の情報は、チラシやFacebookをご覧ください。

SL乗車の方のほか、乗車以外の方のご来店もお待ちしております！



【今後の営業日】 3月6日（金）～8日（日）、3月13日（金）～15日（日）

【営業時間】 12：00～14：00

【お問合せ】 TEL：090-3892-0667 （グリーン☆ツーリズム標茶）

【Facebook】 https://www.facebook.com/shibecha/?locale=ja_jp

みるくっくさんの SOUVENIR SHOP

アンテナショップ

2026 SL冬の湿原号運行日のみOPEN! [12:00~14:00]

標茶のおいしい名産グルメと、町内在住作家の手作り雑貨



- Yogurt Drink • cheese
- chiffon cake • Retort curry
- canned beef • shibetya milk
- handmade goods
- post card etc.

- 飲むヨーグルト・牧場チーズ
- 自然卵で作ったシフォンケーキやプリン
- 星空の黒牛シトルトカレー・標茶牛乳
- 標茶産牛肉缶詰・手作りお惣菜

- ミルクっくさんステッカー
- オリジナルミルクっくさんトートバッグ
- 布小物・皮小物・猛禽類グッズ
- SLポストカード・SLTシャツ
- アイヌ刺しゅう小物・SL手ぬぐい など



駅から10分
すぐ隣だよ！



一緒に活動してくれる仲間を募集中！

主催 グリーン☆ツーリズム標茶
 問い合わせ 090-3892-0667 (代表 大木)

◎『大人の料理教室』を開催しました！！（七飯町）

<わが村団体名：ななえの食を考える会>

七飯町は日本で最初に西洋りんごが栽培された町です。そこで活動する『ななえの食を考える会』は、2月13日（金）に“地域食材を使ったミニアフタヌーンティー”と題し、地域特産物であるりんごを食材に、りんごを知り、味わう『大人の料理教室』を開催しました。

はじめに渡島農業改良普及センターの小坂さんと七飯町の若手りんご生産者さんがりんごに関するお話をしてくださいました。

加工用で一番大事なのは酸味。直売所では酸味が少なく甘いりんごが人気ですが、果樹若手の会では加工用の酸味があるりんごをもっと使ってもらうための活動をしているそうです。



今回紹介してくれたのは、「紅玉」「紅の夢」「ほおずり」の3品種。「紅玉」は明治からある品種で酸味のある風味が良いりんごですが、生産者が少なく希少な存在となっているそうです。また、「紅の夢」は皮だけでなく果肉まで赤い希少品種で製菓用にも人気だそうで、「ほおずり」は

地元有名店のシードルやアップルパイ等にも使われているそうです。

今回の料理教室では、観光を通じて地元の食材のポテンシャルの高さを伝えているという『NIPPONIA HOTEL函館港町』のレストランLE UN（ルアン）の駒井シェフを講師に招き、七飯のりんごをフレンチの要素で調理します。りんごを使ったメニューは「ななえ林檎のタタン」と「ななえ林檎とカボチャのポターージュ」の2品です。シェフはポターージュに使うりんごのコンポート作りを実演し、参加者はりんごの皮と実をばらし、皮の香りを抽出して1つの料理にするとい



うフレンチの技法を教わりながら、日頃捨ててしまうりんごの皮で取っただしの香りの高さに驚いていました。



ななえ林檎のタタンのほか、スコーンやカヌレも焼き上がり、参加者がお皿に思い思いに盛り付けて、いよいよ実食となりました。参加者の皆さんからは「りんごとかぼちゃの組み合わせたポタージュは初めてだけどすごくおいしい」とたいへん好評でした。

『ななえの食を考える会』では、食に関する様々なイベントを行っていますので、興味のある方はお問合せください。また、イベント情報や開催レポートはFacebookでも紹介していますので、是非こちらもお覧ください。

【Facebook】 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100057733476518>

【お問合せ】 TEL:090-9754-3612 (ななえの食を考える会 田中)

◎十勝音更発『ブロッコリーら〜麺(味噌味)』新発売!! (音更町)

<わが村団体名：音更町ら〜麺組合>

“十勝音更をご当地ラーメンのまちに”と、そんな思いから始まった「音更町ら〜麺組合」が取り組む『ブロッコリーら〜麺』は地域の10店舗での提供をはじめ、家庭でも気軽に楽しめる乾麺『ブロッコリーら〜麺(塩味)』の販売も行っています。

この度、新たな乾麺の仲間として、音更町特産「音更大袖振大豆」のkok深い豆味噌スープを合わせた『ブロッコリーら〜麺(味噌味)』の販売を開始しました。



商品はお土産品としても人気があり、音更町の複数の店舗やブロッコリーら〜麺の提供店舗な

どで取り扱っていますので、お近くにお越しの際はぜひお求めいただき、塩味と味噌味の食べ比べなどお試しください。



【販売店】・道の駅おとふけ ・音更町内スーパー（ハピオ木野、らららマルシェ）

・ガーデンスパ十勝川温泉 ・ら〜麺組合加盟店（販売10店舗）

【お問合せ】TEL：0155-42-2246（音更町ら〜麺組合）

【HP（音更町商工会）】<https://www.otofuke.jp/>

（トップページの「ブロッコリーら〜麺」のバナーより取扱店（加盟店）が見られます）

【活動支援メニュー】

○令和8年度（前期）「わが村運動活動助成」の実施

（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和8年度（前期）の助成募集を行っています。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆様に応援しています。

【助成募集期間（R8前期）】令和8年1月～令和8年6月30日まで

【助成額】1団体当たり1件、10万円を限度として選考により予算の範囲内で助成

【H P】 <http://wagamura-net.jp/>

○令和8年度 地域活性化活動助成の募集（一般財団法人 北海道開発協会）

一般財団法人 北海道開発協会では、「地方版総合戦略」と北海道総合開発計画の推進に寄与する地域づくりを支援するため、北海道内の地域の活性化に資する民間主体の活動や取組に対して助成を行っており、令和8年度助成の申請受付を開始しました。

令和8年度の「地域活性化活動助成」の詳細については、当協会HPに掲載されていますので、HPよりご確認ください。

【申請受付の期限】令和8年4月20日（月）（当日消印まで有効）

【助成額】1団体当たり1件、70万円を限度として選考により助成

【H P】 <https://hkk.or.jp/kenkyusho/chiiki.html>

○農山漁村の案内に役立つ〔便利帳〕（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取組を積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する〔便利帳〕を作成しています。詳細は、北海道農政部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々に応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（R8年度開催予定分 テスト販売期間：第2四半期（R8. 7月～9月））

令和8年4月1日 ～ 令和8年5月10日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

今年は例年より雪が多く、気温も低い日が続きましたが、そのおかげで季節の変化をよりはっきり感じられた冬でもありました。最近はずいぶん気温も上がり始め、春の気配が日ごとに近づいているのを嬉しく感じています。

3～4月は特に忙しい時期ですが、そんな中でもふとした瞬間に春を見つける楽しみがあります。桜のつぼみや柔らかな日差しなど、小さな季節の変化に気づける心の余裕を持てたら素敵ですね。いつか、ゆっくりと季節の移ろいを味わいながら過ごす春を迎えられることを楽しみにしています。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階

↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

(配信希望の方は、所属先(所在地)、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください)

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。
